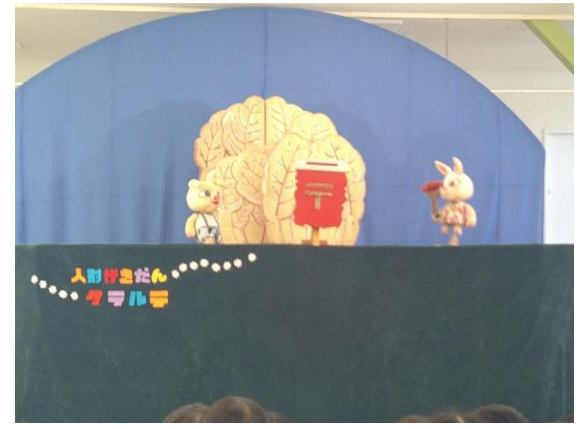




作：柳沢 潤子
 脚：松本 潤子
 演出・美術：西島加寿子
 曲：一ノ瀬幸生

「あひるさんのぼうし」

ある日のあひるさん、ありったけのお金を持って帽子を買いに出かけます。買った帽子はピンクの水玉模様。あひるさんはおしりふりふり自慢をしながら歩きます。ところが、帽子は一人で飛んで行ってしまいました。「なんて生意気な」とあひるさんは必死で追いかけてます。さあ、あひるさんの帽子はあひるさんに返ってくるのかな。



先日、地域（にじっこ、おひさまひろば）と3歳児もも組、4歳児ふじ組の子どもたちが集まり、人形劇を見ました。

1つ目の「あひるさんのぼうし」はおもしろく笑いながらお話の世界を楽しみました！

2つ目の「もりのゆうびんはいたつ」は、ハラハラドキドキのお話で、みんな真剣！！

人形の動かし方なども途中で教えてもらいながら、子どもたちはもちろん、大人の私たちまで笑ったり、ハラハラしたりと、、、お話の世界に引き込まれていきました！！



「もりのゆうびんはいたつ」

こぶたくんとうさぎさんが「郵便屋さんごっこ」を思いつきました。ポストを作ります。赤いポスト。宣伝もします。「ポストができました」「手紙をいれてくださいーい」野原を一周して帰ってくると「やったー」ポストの手紙が入っていました。さあ届けようと張り切ったらそれは「森のおおかみさん」宛なのです。「こわいけどがんばる」と二人は森へ出かけます。最後は秘密です。